



6月1日の善意の日啓発活動（一宮南保育所前にて 昭和57年）

歴史ある「善意の日」

毎年6月1日は、兵庫県内各地で「善意の日」の記念行事が催されます。兵庫県内でもさまざまな取り組みが行われています。

千種商店街での「善意の日パレード」は歴史が長く、千種南小学校鼓笛隊から千種幼稚園風船

6月1日は「善意の日」です。この善意の日は、兵庫県と兵庫県社会福祉協議会が共同主催者となり、昭和39年に定めました。県民一人ひとりの善意と誠意を結び、集め育てることによって、社会の福祉を増進し、明るく豊かな郷土づくりを進めていきたいとの願いがこめられています。

ボランティアの はじまりは 「善意の日」

隊に引き継がれ、明るく豊かなまちづくりを呼びかています。

また、善意の日（善意推進月間）

の理解や協力を呼びかける啓発活動として、社協広報車による巡回宣伝や街頭における啓発資料の配布、有線放送での呼びかけも行われています。

善意銀行はボランティアセンターの出発点

この「善意の日」にさきがけ、

「善意銀行」は昭和37年に徳島県で生まれました。銀行のように寄付金品と人（現在というボランティア）を預かり、必要に応じて払い出し（配分・派遣）をするという、



善意月間にちなみ美化活動を実施（H20.6.8）
～千種町内全域（今年も6月6日に行います）～

その独創的なアイデアと先駆的なシステムは大きな反響を呼び、またたく間に全国へ広がっていきました。兵庫県における「善意銀行」の誕生もこの頃です。

ボランティアという言葉がまだ市民権を得ていない時代でしたが、この善意銀行がボランティアセンターの前身となったのです。

現在、ボランティアの登録や調整はボランティアセンターが行う「しくみ」へと発展し、善意銀行は金品の取り扱いが中心となっています。